

主なメニュー：ゼミの趣旨 ゼミのやり方 テキスト選択

配布(配信)物：「春学期プラン」、報告のやり方、報告レジュメのサンプル。

1. ゼミのテーマと課題

(1) 「現代経済の諸問題」

本ゼミでは、現代経済についていくつかの分野や視点から問題を検討することにより、現代経済の全体像をつかむことを課題とする。また複数分野の諸問題の検討を通して、各人のもっとも興味深い問題領域と課題を見つけ知識を深める作業を行っていく。

本年は、大きく変わりつつある世界の中の日本の現状を把握するべく、流通・金融・労働等の分野の書物を読む。その中で経済の現状と政策をめぐる諸論点を検討したい。

(2) 自分の問題関心からテーマを選択して研究する→テーマ報告、卒論作成

いくつかの分野の問題から、現時点でもっとも関心のあるテーマを選択して追求する。学問研究では、自分の問題意識を明確化し、つきつめていくことがもっとも大事である。

(3) 知的生産の技術を修得→プレゼンテーション(発表)・討論・執筆

課題に取り組む過程で、「知的生産の技術」(読み書き、発表、討論の技術)を修得しコミュニケーション力を育成する。とくにグループ討論、ディベート等で発言機会を増やし、質問力・プレゼン能力・討論力を鍛えたい。

2. ゼミのやり方

(1) 新聞の読解

・ここ1週間くらいで興味深かった**経済関連記事**を取り上げて討論する。

・報告形式

(1) 冒頭で新聞名、日付、報告者の氏名を明記した上で。要点と疑問点を書く。

(2) 記事のコピーに手書きで要点と疑問点を書いたものをスキャナーで PDF ファイルにして送るか、ワードに記事をコピーしたうえで、要点と疑問点を記したファイルを作り、**前日までにメーリングリストに送る。**

(2) テキスト輪読

①輪読の形式…毎回2名が報告する。一方が報告しているときに、他方が司会をする。

まず報告者がレジюме（レポート）をもとに発表。それに続いて疑問点、論点について全員で討論する。

②報告のやり方…レジюмеを作成して報告→サンプル参照

- ・レジюмеの作成・配布…報告者は、テキストについて、1 要約、2 疑問点・論点などに分けて発表する。→レジюмеは前日までにメーリングリストに添付して全員に送る。
- ・書いてあることを精確に読みとることはもちろん大事であるが、自分が関心をもった内容や問題点（著者の論点への疑問点も含む）を発表して議論の素材を提供する。

③報告者以外の人への注意…全員しっかり読んできて、質問を1つ以上用意すること。

- ・疑問のある箇所に印をつけておき、必ず1つ以上の疑問点や問題を提起して、議論に参加すること。なお、報告者をその場で決める機会を複数回つくる。全員がレジюмеをつくって用意し、レジюмеのファイルを教員に送付して準備する。

(3) グループ討論・研究

①ディベート…二つのグループが対抗して討論を行う。→5月。

②グループ研究…グループで共同して調査研究を行う。→7月予定。

③グループ討論（グループディスカッション）…5月後半～。4,5人ずつのグループに分かれて討論し、グループごとに結果を発表する。司会、書記、発表者を決めて討論する。

(4) テーマ研究発表…各自興味ある問題を取り上げ、調査・研究して報告する。

- ・1回1人5～10分程度の発表。11月末くらいまでに全員テーマを決めて発表する。
- ・テーマ報告のしかたについてはプリントを配布して説明する。

(5) パソコン技術の修得

- ①ワード、エクセル、パワーポイントの技術を修得。
- ②通信能力…メーリングリストによる通信、添付ファイルの送信など。
- ③Web会議のツールを使いこなす。

3. 授業の内容・スケジュール

(春学期)

第1回 ゼミのやり方、報告のしかた、テキスト配布、報告者の順番の決定

第2回 テキスト、新聞記事の報告と討論

第3回～12回

新聞記事の報告 テキストの報告と討論 ディベート、グループ研究
(秋学期) 授業開始前に秋学期メニューをアップする予定。

4. **ゼミ・ホームページの閲覧**…プリントやゼミ情報 を記載するので時々閲覧すること。
<http://takezemi.web.fc2.com/index.html> を打ち込み、「お気に入り」メニューに入れておく。大学のホームページで経済学部教員のページにもリンクしている。

5. **ゼミイベントについて**

- ・日帰りの企業見学などを企画する。
- ・感染防止につとめつつ行えるレクリエーションの企画を提出する。
- ・グループで企画を練る。

6. **スポーツ**

- ・ Semester (学期) に1回はスポーツ大会を開催する。

7. **テキスト・参考文献**

- ・春学期のテキスト：伊藤元重『流通大変動 現場から見えてくる日本経済』。
- ・演習費で購入

(1) **テキスト候補・参考文献**

(a) **生産と流通システム**

- ①伊藤元重『流通大変動 現場から見えてくる日本経済』NHK 出版新書、2014年。
- ②角井亮一『アマゾンと物流大戦争』NHK 出版新書。

(b) **金融問題…金融政策 フィンテック キャッシュレス化**

- ①加藤出『日銀、「出口」なし!』朝日新書、2014年。
- ②坂井隆之・宮川裕章『AI 変えるお金の未来』文春新書、2018年。

(c) **労働・社会問題**

- ①濱口桂一郎『若者と労働』中公新書ラクレ、2013年。
- ②橋本俊詔『格差社会—何が問題なのか』岩波新書、2006年。

(2) **学習・研究のしかた**

- ①後藤芳文・伊藤史織・登本洋子『学びの技 14歳からの探求・論文・プレゼンター

ション』

②梅棹忠夫『知的生産の技術』岩波書店、1969年。

8. ゼミのルール

(1) 定刻にゼミを開始し出席をとる。開始前5分には参加準備をすること。

欠席や遅刻をしないこと。やむを得ず欠席する場合は、事前に理由を書いて電子メールで連絡すること。

・ホームページの「欠席の連絡様式」を参照。

連絡先：電子メールアドレス htakeuchi2@gmail.com

電子メールで連絡するさいの作法…用件、宛名、記名を必ず書く。

① 自分の氏名を必ず書くこと。用件欄に氏名を書いてもよい。

②用件欄にどんな用件かを書くこと。欠席の場合は「欠席連絡」など。

③ 宛名を書く。文章のはじめに、手紙と同様に、～先生 のように書く。

「電子メールの書き方」はホームページにアップしているので参照。

(2) 積極的にゼミに参加し（報告者以外もテキストを読んで自分の疑問や考えをまとめておく）、自分の追究したい課題を見つけること。

9. 採点の基準

・出席、報告や発言の回数や内容によって成績を決定する。

○決め事等

(1) 報告の順番・第1回…テキストの報告は2名選出（司会は交替で行う）。新聞記事報告は報告と司会1名ずつ。報告のレジュメは前日までにMLに送付すること。

(2) パソコン用MLアドレスへの追加のアドレス登録を希望する者は申し出ること。